

親しまれる「議会だより」に 紙面刷新を検討中

情報化対策特別委が行政調査

「議会だよりを読みやすく親しみのあるものにした」議長交際費や政務調査費を市民に公開できないか。情報化対策特別委員会（渡辺真多委員長ほか8委員）は4月24、25日、取り組みが進んでいる三つの議会を訪れ、行政調査を行いました。

調査を終えての感想は「議会だよりは、定例会後できるだけ早く発行するべきだ」「市民に興味を持ってもらえるよう編集作業を強化する必要がある」「議会の情報公開も進めなければ」な



どという点で一致しました。調査で訪れたのは岩手県金ケ崎町、滝沢村、宮城県大郷町の議会。3町村の議員らはいずれも自信满满で、「議会であったことを分かりやすく伝えよう」とする姿勢を強く感じました。

3町村議会は、全国の「議会だよりコンクール」で最優秀賞に輝くなど広報作りでは実績のある議会。大郷町の議員からは「岩沼の『議会だより』は『議員だより』だね」などと厳しい指摘を受けました。耳の痛い言葉でした。

3町村議会には明確な「編集方針」があり、「議会のことを町民、村民に分かりやすく伝える」などという内容でした。編集方針ではありましたが、議会の姿

勢そのものようでもありません。また、議会だよりは、議会と住民をつなぐメディアであり、「市民に対しての『顔』」であることを再認識させられました。

情報化対策特別委は今年初めに、委員会の中に「編集部」と「情報公開・ホームページ部」の二つを立ち上げました。編集部は、議会だよりをできるだけ早く仕上げる「スピード発行」と、読みやすく親しまれる紙面づくりを目指しています。紙面の大幅な刷新も検討しています。

ホームページ部は、議長の交際費や会派の政務調査費をホームページで詳しく公開する方向を模索しています。

市民の皆さん!! ご意見をお寄せください

「議会だより」は、市民の皆さんの声も取り上げ、一緒につくっていきたく思います。

他の市町村の「議会だより」には、傍聴者の声や地域住民の意見、陳情や請願、一般質問の追跡記事などが掲載されています。

市民の皆さんのご意見やご要望をお寄せください。

情報化対策特別委員会

連絡先 岩沼市議会事務局
TEL22-1111
(内線272・273)
FAX22-2781



編集後記

今回から市議会だよりの発行は1カ月早めることになりました。従来は議会開催から3カ月後に発行していましたが、これからは2カ月後に発行を短縮し、内容も少しずつ変えていくことになりました。

そのためにこれから幾つかのことは変えていかなければなりません。すぐに変更するということは容易なことではありませんが、より良い議会活動を目指し変化していることをご報告できればと考えています。

発行、早めました

これからの議会だよりが一人でも多くの方々に愛読いただけるよう努めてまいります。

なお、6月14日にマグニチュード(M)7.2の岩手・宮城内陸地震が発生し、岩沼市は震度5弱でした。栗原・大崎・一関の3市は震度6強、死者不明者が23人に上りました。

甚大な被害によるライフラインの破壊は住民生活に支障を来しています。市議会として、3市に義援金を届けました。被災者の方々には1日も早い復興を心よりご祈念申し上げます。

情報化対策特別委員会